

富士のさと 中学会議所

【活動期間】 7月～12月
【実践発表会】 12月17日(日)



○趣旨

地域が抱えている課題を自分事として捉え、中学生の視点で、その解決に向けて取り組む体験活動を通して、課題解決力を養うとともに、持続可能な社会づくりに向けて貢献できる人材の育成を目指す。

○参加者

中学生 12名
(1年生2名, 2年生5名, 3年生5名)
御殿場市 8名 裾野市 2名
富士市 1名 富士宮市 1名

○連携・協力

御殿場市都市建設部都市整備課, ランドブレイン株式会社
御殿場市教育委員会, 小山町教育委員会, 裾野市教育委員会
静岡大学 教授 阿部 耕也 氏
東京家政大学 教授 白木 賢信 氏

○事業の内容

【初回1日目】 7月15日(土)

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> 意見を言いやすい雰囲気づくりや仲間づくりを行う。 自分の住んでいるまちの魅力や課題について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 開会式, ガイダンス, アイスブレイク フィールドワーク(荒井園製茶工場) ※高校生地域探究と合同実施 グループワーク『地域の魅力について』

活動の様子

高校生の地域探究プログラムの活動例をもとに探究のプロセスを学んだ後、荒井園製茶工場(御殿場市)へフィールドワークに行き、茶摘みや茶もみ体験をした。フィールドワークを通して茶業の魅力や課題を考えるとともに、魅力発信や課題解決の方法について考えた。



【初回2日目】 7月16日(日)

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> 高校生とともに講義や演習に取り組むことで、探究のプログラムを体感し、探究活動の流れについて見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義, 演習①『課題解決の基礎』(高校生地域探究と合同) 講義, 演習②『地域課題の探究』(高校生地域探究と合同) 講義, 演習③『地域課題の探究』(高校生地域探究と合同) ※荒井園の方とともに茶業の魅力や課題を考える

活動の様子

高校生の地域探究プログラムと一緒に活動したことで、目の前の課題に対して意欲的に取り組む意識の向上が図れた。また、茶業に携わる方からの話を聞くことで、茶業の魅力発信や課題解決策について多面的・多角的に考えることができた。



【第2回】 9月10日(日)

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> 御殿場駅周辺のまちづくりについてどのように取り組んでいったらよいのか見通しをもつ。 活動のグループや日程について、メンバーで話し合っ決めて。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義『探究活動について』 講義, 演習『今後の活動について』 ※御殿場市都市建設部都市整備課より グループワーク『活動グループのメンバー決め』 『活動内容・日程について』

活動の様子

御殿場市都市建設部都市整備課の方から御殿場駅周辺のまちづくりへの協力について依頼を受けたことで、参加者は活動意欲を向上させていた。昨年度の事業に参加したメンバーが中心となってグループ分けを行い、活動内容や日程について積極的に話し合う姿が見られた。

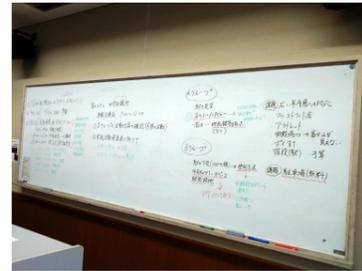
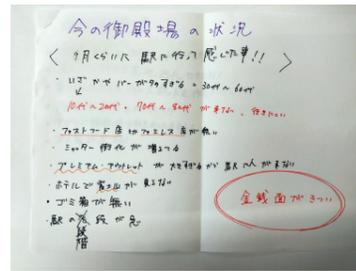
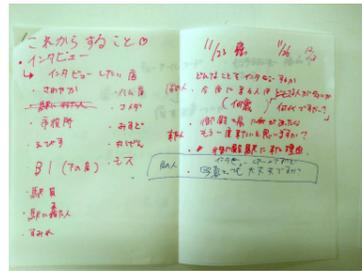


【情報交換会】11月11日（土）

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> 全体でこれまでの活動を共有し、今後の活動の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の振り返り、情報共有 グループワーク『今後の活動について』

活動の様子

全体で情報共有したことで、自分たちが取り組んできた活動について多角的に振り返ることができただけでなく、今後の活動についてのイメージが膨らんだ様子が見られた。各グループの活動の方向性について確認をし、どのようなテーマで取り組んでいったらよいのか共通理解を図った。

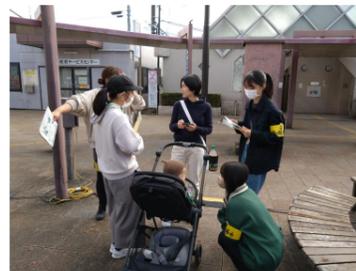


【イベント参加（駅まえ〜）】11月23日（木・祝）

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> アンケートやインタビューを行い、市民の考えを知るとともに、駅周辺の様子について情報収集をする。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントに来られた方や市民の方へアンケートとインタビューの実施 駅周辺の実地調査

活動の様子

イベント当日は8名が参加し、3つのグループに分かれて活動した。メンバーはアンケートやインタビューを来場者に対して積極的に行い、90名のアンケートを集めることができた。また、駅周辺を歩き回り、道路状況や施設の立地状況について観察し、情報収集を行った。



【実践発表会に向けた準備】12月3日（日）、9日（土）

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> 実践発表会に向けて準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践発表会に向けた資料作成、発表練習

活動の様子

リーダーが中心となってこれまでに集めた情報を熱心にまとめていた。試行錯誤しながら一人一人が意見を伝え合い、協力して資料や発表原稿の作成に意欲的に取り組む姿が見られた。



【最終回（実践発表会）】12月17日（日）

ねらい	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> 参観者に共感してもらえるように資料の活用や発表の仕方を工夫してプレゼンテーションする。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践発表会に向けた発表練習、リハーサル 実践発表会 ※実践発表会后、修了式において修了証書の授与

活動の様子

参観者に自分たちの考えをしっかりと伝えられるよう、発表の仕方を工夫しながら何度も練習していた。実践発表会では、2つのグループに分かれてプレゼンテーションを行い、Aグループはごみの多さや人通りの少なさに着目して「ごみの日」に合わせたイベントを、Bグループは若者の集まる場所が不足していることに着目して、商業ビル内にカフェスペースの設置案を提案した。発表の場面では、仲間と励まし助け合いながらよいプレゼンテーションにしようと努力する姿が多く見られ、緊張していた表情も発表を終えると達成感で満ち溢れていた。



【事業後アンケート 一部抜粋】

- データの集め方や活用の仕方を学ぶことができた。また、いつもとは違う環境で、他者と学ぶことや人前で話すことに慣れることができた。
- 地域について考える楽しさを知った。
- 意見を発表したり、自分の考えをうまく伝えられたりするようになった。
- 昨年に続いて2回目の中学会議所への参加だったが、御殿場市にはとても魅力があるので、今回学んだことを活かして、高校でも自分の住んでいるまちの魅力を伝えたいと思った。

《成果と課題》

○成果

- 高校生の地域探究プログラムと一緒に活動することで、探究活動への意欲向上が図れるとともに探究のプロセスを学ぶことができ、探究活動への見通しをもつことができた。
- フィールドワークを通して地域の課題に目を向けることができ、実際に働いている方と魅力発信や課題解決の方法について考えたことで、多面的・多角的な見方ができるようになった。
- 実践発表会では、御殿場市教育長や御殿場市都市建設部都市整備課をはじめ、たくさんの方にご参観いただいた中でのプレゼンテーションとなり、今まで体験したことがない緊張感の中、仲間と励まし助け合いながらやり遂げることで、自信につながった。
- 御殿場市都市建設部都市整備課と連携しテーマやゴールを設定したことで、探究活動への意欲付けと他者との協働を促進するきっかけとなった。

●課題

- 探究のプロセスを学ぶためには、高校生とともに活動することやフィールドワークは効果的ではあるが、課題に対してより自分事として捉えさせるためには、テーマに合った活動の場や実体験を多く設定することが必要である。
- 活動日程を参加者で決めながら活動したが、部活動や家の都合などにより全員が集まる日を設定することが難しく、リーダーの負担が大きかった。その都度活動日を決めるのではなく、年間を通じて活動日を設定し、必要に応じて活動機会を増やすなど、計画的に活動させる必要がある。